

種名	<u>オオムラサキツユクサ</u> <u>Tradescantia virginiana</u>				
					
分類	被子植物双子葉植物綱ツユクサ科	俗称		生活型	多年草
分布	原産地は北アメリカの東部。日本へは昭和時代の初期に渡来 野生化して日本全国に分布				
形態	<p>高さ 50～100 センチ。花も大形で花径4～5センチの青紫色の三弁花を咲かせる。花の中央には雄しべが6本と雌しべ(花柱)がある。一日花で、午後にはしぼむ。園芸品種には、紅紫、赤、白などのものがあり、八重咲きもある。ムラサキツユクサと交配されたものがあり区別はむずかしい。</p> <p>葉は幅の広い線形である。</p> <p>花の後にできる実はさく果(熟すると下部が裂け、種子が散布される果実)である。</p>				
類似種					
生息場所	田んぼや溝地など。				
繁殖	花期は5～9月。				
他生物との関係					
カテゴリ					
引用文献:ホームページ「みんなの花図鑑 オオムラサキツユクサ」を改変					